

マラウイ通信



渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

「チテンジ」のアフリカ特有の布です。同じアフリカ内であっても国によって絵柄や呼び方が微妙に違います。マラウイ↓チテンジ、ザンビア↓チテンジ、ケニア↓キテンゲといった感じですが、2mで230円〜500円が平均的な価格で、ローカルマーケット等で主に売られています。カラフルで無数の柄が陳列されているチテンジを見ていただけでも楽しめます。このチテンジどんな用途に使われていると思いますか。本当に多様でマラウイの生活には欠かせない存在となっており、いくつか例を挙げてみただけでも、スカート・ドレス・シャツ・赤ちゃんのおんぶ紐・カーテン・三角巾・敷物・テーブルクロス・ハンカチ・日よけ・トイレの際の目隠し、etcと色んな使い方があります。女性は主にスカート（腰に巻く）として使用し、男性はシャツ等をオーダーメイドで作っています。一見派手なシャツなのですが、マラウイでは正装とされており、アフリカ男性が着ると凄く似合います。各衣類は、街中のテイラー（仕立て屋）に布を持って行き自分オリジナルの物を作ってもらいます。価格はシャツ一着で千円弱程度です。私も何着か作って見てみましたが、あまり似合わない



いので、たまにしか着ていません。最近ではこのチテンジを使用したアクセサリーやバックなど、様々な商品も増えてきてきました。また、日本国内においても元協力隊による新商品も開発されておりエプロンや浴衣に加工され販売されています。

【グラスフェンス】一般家庭での家屋の塀は、この草や竹等で作られたグラスフェンスです。少し入り組んだ農村部に行けばフェンス等を設置していない家も多いですが、住居が集合している様な地域ではこういったフェンスで敷地内を囲ってあります。私の家もこのグラスフェンスで囲ってありますが、半年間でかなりボロボロになってしまいました。近々修繕する予定です。少し隙間があれば堂々と覗かれる事があるので気になるのですが、少しずつ慣れてきました。特に子供達にとっては、外国人はかなり珍しいので興味深々で覗いてきます。

鼻をほじりながら



過かなッこのをも家屋家経ア最季がラ南
ごりのがんで着薄の内験フ近節もウ半
しをにあいで手中は構しりはとっ球で
て膨とれ時い寒ダは的いのもはあ
いま想ばにまさウいのにま冬短ま寒る
すせば高タ。しンつでもす。く。す。月マ

【SORT】5Sの最初のステップがSORT、整理です。オフィスには必要な物、そうでない物が散在しておりその見極めをする事が第一段階となります。SORTを直訳すると分類することなのですが、まさにその分類が意外と難しく難航しています。一見私から見ると明らかに壊れており不必要な文具や、大量の古いパンフレットなど、捨てて当然の様な物でも基本的にマラウイ人は捨てようとしません。勿体ないから残しておきたいという気持ちと面倒くさい気持ちの両方があるのだと思いますが、口で言っても「必要だからキープしてある」と返答されます。自分と現地人との感覚の違いを無視して、無理矢理自分の意見を押し付ける事も今の段階で出来ずに色々な葛藤があります。目標としては帰国までに全部署の整理整頓を完了させたいと思っはいるのですが、現段階ではどうなることやらと不安要素満載です。少しずつでも、継続的な改革を目指したいと思います。